

国鉄新性能電気機関車シリーズ

EF62 本体価格予価340,000~345,000円

予約受付中 2023年12月発売予定



JR東日本許諾請求中

だいぶ以前より進めていました EF62 の企画内容がほぼ決定致しましたので発表させていただきます。この企画、今から 20 年近く以前当時 EF66 の後の企画として EF63 と共に制作する予定でした。しかし非常に嫌な事が有りメーカーの AJIN ヘデータを送る直前に取り止めにした経緯が有りました。しかし当時とは比べ物にならない程 ATM 社の実力が上がっていますのでより満足して頂ける製品となりますようメーカー共々努力してまいります。

ご存知の通り EF62 は 1 号機試作型、2~24 号機の量産前期型、25~54 号機の量産後期型に大別されます。これらも時代や製造時期による相違や国鉄時代の高二、篠ノ井区や後の下関区に移動後の変化、JR による後天的な改造の他、当店が拘る所の 1 輦のみの何故だか解からないイレギュラーな相違を徹底して追及、EF62 の各機番の各時代をできる限りにおいて再現して行こうというコンセプトです。そんな中、今回私達が特に希望したのが試作機 1 号の製品化でした。横川鉄道文化村において取材の許可をいただき車体と床下機器等下廻りに一日、屋上に半日と 2 度の取材でデータを蓄積、製品化への道を開く事が実現しました。メーカーの ATM にとっても量産機とは形態が大きく異なるところ製品化に同意してもらえました。1 号機だけでも一段高くなっている屋上放熱モニターが特徴の登場時ブドウ 2 号時代。塗装変更後 1976 年の横川~軽井沢間専用無線アンテナ取り付け以前、以後と屋上アンテナ撤去後と 4 つのタイプでの制作になります。前期、後期型共にまだ多少の変更は有ると思われまますのでその点はご了承ください。

時代による形状の変化は以下の通りの区分となります。

A.登場時ブドウ色 2 号、1~26 号機。~1967 頃

B.青 15 号前面クリーム、横軽間専用列車無線アンテナ取り付け以前。~1976 年頃

C.青 15 号前面クリーム、横軽間専用列車無線アンテナの取り付け。1976~1979 年。
2 エンド運転席両側窓下と同じく 2 エンド屋上にアンテナを装備、ただし屋上のアンテナはその性能から必要性が認められず確認出来た範囲では 12 輦程にしか取り付けられていません。1979 年には早々取り外された号機が多く又下関転属後も最後まで取

り外されなかった号機もあります。この辺りは号機ごとに細かく作り分け致します。又恐らく 1976 年頃より高二タイプは屋上が大宮工場で黒塗装となる。この他号機ごとの変化として避雷器の新型への交換、1980 年代に入ってから熱線ガラス化によるデフロスタの撤去、電暖ジャンパー柱の内側への 10 cm 移動が挙げられる。

D. 下関転属、東海道、山陽本線にて荷物列車を牽引。1984 年 2 月～1986 年 11 月

J. JR 東日本継承車,41,43,46,49,53,54 号機。1990 以降前面 C-アンテナ取り付け。

<試作 1 号機>

TYPE1A 1 号機 登場時ぶどう色 2 号塗色、高二。屋上モニター放熱部が高いのが特徴で放熱部はグレー塗装。床下機器も異なる。 高二

TYPE1B 1 号機青 15 号 1976 年以前 高二

TYPE1C-1 1 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1978 年 10 月以降。高二

TYPE1C-2 1 号機 1979 年には早々と 2 エンド屋上のアンテナは撤去されている。現在の横川鉄道文化村のブドウ 2 号塗装塗り替え保存機は 2 エンド避雷器が現役時代の LA16 から LA15A に交換されている。1 エンドの LA15B は現役時代からのもの。高二
～篠ノ井

<前期量産型>

TYPE2B 2 号機青 15 号 1976 年以前 篠ノ井

TYPE2C 2 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降。篠ノ井

TYPE3A 3 号機ブドウ色 2 号～1966 年。登場時 高二

TYPE3C 3 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降。篠ノ井

TYPE4C 4 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降。高二

TYPE4D 4 号機青 15 号東海道山陽線 1982 年以降 下関

TYPE5B 5 号機青 15 号アンテナ無し。1976 年以前 篠ノ井

TYPE5C 5 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降 篠ノ井

TYPE6A 6 号機ブドウ色 2 号～1966 年。登場時 高二

TYPE6C 6 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き 1976 年以降 篠ノ井

TYPE7B 7 号機青 15 号 1976 年以前 篠ノ井

TYPE8C 8 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降 篠ノ井

TYPE9B 9 号機青 15 号 1976 年以前 篠ノ井

TYPE11C 11 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き 1976 年以降お召し篠ノ井

TYPE15C 15 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降 高二

TYPE15D 15 号機青 15 号東海道山陽線 1982 年以降 下関

TYPE17C 17 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降 高二

TYPE20C 20 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降 高二

TYPE22B 22 号機青 15 号 1976 年以前 高二

TYPE23B 23 号機青 15 号 1976 年以前 高二

TYPE24C 24 号機青 15 号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976 年以降 高二

<後期量産型>

TYPE25C 25号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二

TYPE26A 26号機ブドウ色 2号 登場時

TYPE26D 26号機青 15号東海道山陽線 1982年以降 下関

TYPE27C 27号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二

TYPE29C 29号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二

TYPE34B 34号機青 15号 1976年以前 高二

TYPE35B 35号機青 15号 事故廃車 1975年11月まで。

TYPE36C 36号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二

TYPE37B 37号機青 15号 1976年以前 高二

TYPE38D 38号機青 15号東海道山陽線 1982年以降 下関

TYPE40C 40号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井

TYPE42B 42号機青 15号 1976年以前 篠ノ井

TYPE44C 44号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井

TYPE45C 45号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井
抵抗器カバー無し変形機

TYPE48C 48号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ外し。 1981年以降 篠ノ井
片側パンタグラフ PS22B (PP,PS17)

TYPE51B 51号機青 15号 1976年以前 篠ノ井

TYPE52C 52号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。 1976年以降 篠ノ井
抵抗器カバー無し変形機

TYPE53C 53号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。 1976年以降 篠ノ井

TYPE54C 54号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。 1976年以降 高二

<JR 東日本田端運転所>

JR 化後僅か 6 輛だけ生き残った JR 東日本田端運転所所属機。1990 年以降 C アンテナ
取り付け及び ATS-P アンテナ。各号機の特徴を完全に作り分け致します。

TYPE J41 JR 東日本 41号機青 15号 1990年以降 田端

TYPE J43 JR 東日本 43号機青 15号 1990年以降 田端

TYPE J46 JR 東日本 46号機青 15号 1990年以降 田端

TYPE J49 JR 東日本 49号機青 15号 1990年以降 田端

TYPE J53 JR 東日本 53号機青 15号 1990年以降 田端

TYPE J54 JR 東日本 54号機青 15号 1990年以降 田端

EF62 は試作型 1号機,前期型 2～24号機と後期型 25～54号機で製作を完全に分けて
行う事に致しました。宜しくお願い致します。

＜お客様ご注文書＞

ご注文は誠に勝手ながら 令和4年10月10日(月)までをお願い致します。

ご注文年月日 _____ 年 月 日

ご氏名 _____ 郵便番号 _____ - _____

ご住所 _____

電話番号 _____ FAX番号 _____

メールアドレス _____

製品名	注文数	製品名	注文数
<試作1号機>		TYPE5C 5号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井	
TYPE1A 1号機 登場時ぶどう色2号塗色、高二		TYPE6A 6号機ブドウ色2号～1966年。登場時 高二	
TYPE1B 1号機青 15号 1976年以前 高二		TYPE6C 6号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き 1976年以降 篠ノ井	
TYPE1C-1 1号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き		TYPE7B 7号機青 15号 1976年以前 篠ノ井	
TYPE1C-2 1号機 1979年には早々と2エンド屋上のアンテナは撤去されている		TYPE8C 8号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井	
		TYPE9B 9号機青 15号 1976年以前 篠ノ井	
		TYPE11C 11号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き 1976年以降お召し 篠ノ井	
<前期量産型>		TYPE15C 15号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二	
TYPE2B 2号機青 15号 1976年以前 篠ノ井		TYPE15D 15号機青 15号東海道山陽線 1982年以降 下関	
TYPE2C 2号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き		TYPE17C 17号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二	
TYPE3A 3号機ブドウ色2号～1966年。登場時 高二		TYPE20C 20号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二	
TYPE3C 3号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降。篠ノ井		TYPE22B 22号機青 15号 1976年以前 高二	
TYPE4C 4号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降。高二		TYPE23B 23号機青 15号 1976年以前 高二	
TYPE4D 4号機青 15号東海道山陽線 1982年以降 下関		TYPE24C 24号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二	
TYPE5B 5号機青 15号アンテナ無し。1976年以前 篠ノ井			

製品名	注文数	製品名	注文数
<後期量産型>		TYPE48C 48号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ外し。1981年以降 篠ノ井	
TYPE25C 25号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二		TYPE51B 51号機青 15号 1976年以前 篠ノ井	
TYPE26A 26号機ブドウ色 2号 登場時		TYPE52C 52号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井	
TYPE26D 26号機青 15号東海道山陽線 1982年以降 下関		TYPE53C 53号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井	
TYPE27C 27号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二		TYPE54C 54号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二	
TYPE29C 29号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二			
TYPE34B 34号機青 15号 1976年以前 高二		<JR 東日本田端運転所>	
TYPE35B 35号機青 15号 事故廃車 1975年11月まで		TYPE J41 JR 東日本 41号機青 15号 1990年以降 田端	
TYPE36C 36号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 高二		TYPE J43 JR 東日本 43号機青 15号 1990年以降 田端	
TYPE37B 37号機青 15号 1976年以前 高二		TYPE J46 JR 東日本 46号機青 15号 1990年以降 田端	
TYPE38D 38号機青 15号東海道山陽線 1982年以降 下関		TYPE J49 JR 東日本 49号機青 15号 1990年以降 田端	
TYPE40C 40号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井		TYPE J53 JR 東日本 53号機青 15号 1990年以降 田端	
TYPE42B 42号機青 15号 1976年以前 篠ノ井		TYPE J54 JR 東日本 54号機青 15号 1990年以降 田端	
TYPE44C 44号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井			
TYPE45C 45号機青 15号横川～軽井沢専用アンテナ付き。1976年以降 篠ノ井			